

### 第三海堡遺構と貝山地下壕の視察 議事録

1. 日時, 場所; 平成 23 年度 6 月 2 日, 横須賀市夏島都市緑地 (第三海堡遺構), 貝山地下壕, 横須賀市動物愛護センター (意見交換会)
2. 参加者; 正垣・大里・金田・菊地・内藤・中山・坂梨・西岡・昌子・田中・土門・川邊・土倉・高橋峰男 (防衛大学), 藤原盛光 (川崎地質), 青木猛 (前横須賀市追浜行政センター館長) 森信之・新倉信雄・若麻績順哉 (横須賀市) の総計 19 名
3. 配布資料
  - ・ 東京湾第三海堡遺構とその保存 (昌子委員); 資料 1
  - ・ 特殊地下壕に対する当研究委員会の研究の方向性 (貝山地下壕を例にして) (正垣委員長); 資料 2
  - ・ 貝山及び第 3 海堡視察参考資料 (大里幹事); 資料 3
  - ・ 貝山地下壕に関する図面 (4 枚) (青木猛様); 資料 4
  - ・ 特殊地下壕の対策事業について (中山委員); 資料 5
  - ・ 大谷石採取場跡地観測システム (中山委員); 資料 6
4. 第三海堡遺構の視察
  - ・ 資料 1 に基づいて東京湾第三海堡遺構を見学した。
5. 貝山地下壕視察前の事前説明
  - ・ 資料 2,3,4 に基づいて視察名の事前説明が行われた。
6. 貝山地下壕の視察
  - ・ 青木猛 (前横須賀市追浜行政センター館長) 様案内により, 貝山地下壕の A,B 地区を見学した。
7. 視察後の意見交換
  - ・ 資料 2,3,4,5,6 を用いて, 貝山地下壕の管理者である横須賀市緑地管理課課長 (森様) らと以下の項目に関して意見交換を行った。
  - ・ 全国の地下壕と比較して, 安定性は高いと予想された。しかし, 三浦半島の 3 断層は地震活動度が全国の中でも極めて高いので, 安定性の評価には, 今後の調査・分析・解析を踏まえた慎重な検討が必要である。
  - ・ 今後の調査で地下壕に入る場合は, 3 日くらい前に横須賀に連絡する。研究目的として協力できるが、資金面については何とも言えない。
  - ・ 文化財遺産として教育委員会と相談することも視野に入れる。

以上